

2 仙南圏域における観光振興施策について



仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸

【参考】令和7年度みやぎ観光振興会議での御意見

施策1 戦略的な観光地域づくり

現状・課題

- 仙南圏域外に宿泊するか、日帰りで仙南圏域を観光するケースが多い。
 - 仙南圏域内での宿泊・周遊のため、宿泊につながる夜間・早朝のコンテンツや新たなコンテンツの作成が必要
- 仙南圏域でしか体験できないコンテンツが知られていない。
 - 効果的な観光プロモーションが必要

【観光客入込数・宿泊観光客数】

(単位：万人、万人泊)

圏域	R5 (①)			R6 (②)			比較増減		
	観光客 入込数 A	宿泊 者数 B	宿泊者/ 入込数 割合B/A	観光客 入込数 C	宿泊 者数 D	宿泊者/ 入込数割 合D/C	観光客 入込数 C/A	宿泊 者数 D/B	宿泊者/ 入込数割 合②-①
仙南圏域	670	63	9.4%	708	63	8.9%	105.7%	100%	-0.5%
仙台圏域	3,936	727	18.5%	4,073	770	18.9%	103.5%	105.9%	0.4%
うち仙台市	2,523	601	23.8%	2,618	652	24.9%	103.8%	108.5%	1.1%

(出典：宮城県観光統計概要)

充実させたいコンテンツ例

- ① 「滞在時間を延ばす」・「宿泊者しかできない」体験型コンテンツ
 夜間・早朝コンテンツのほか、酒蔵ツーリズム、スリープツーリズム、ファスティング（断食）体験等の作成

【夜間・早朝コンテンツのイメージ】

宮城蔵王御釜ご来光見学ガイドツアー、白石城プロジェクションマッピング、天守閣でのディナー、かくだH2ロケットライトアップ、みちのく花あかり、おおがわら桜イルミネーション、齋理幻夜、阿武隈ライン舟下りナイトクルーズ、みやぎ蔵王えぼしリゾートナイトゴンドラ 等

- ② 「ここでしかできない」体験型コンテンツ

- ・ 仙南圏域のオルレコースと温泉、食を組み合わせたトレッキングツアー
- ・ 蔵王ジオパークを活用したジオツアー
- ・ 全国で5城のみ木造復元された白石城での本格甲冑体験
- ・ 地域にある資源（地域主体で実施する体験など）の観光資源化

※①、②のコンテンツ作成については、閑散期対策や集客につながるターゲットのニーズを踏まえて検討を行う。

- ③ 効果的な観光プロモーション

- ・ 圏域の自治体と観光関係者の連携による各種SNS等を活用した広報
- ・ 著名なインフルエンサー等による仙南地域の誇る観光資源のPR

夜間・早朝コンテンツ



おおがわら
桜イルミネーション



宮城蔵王御釜
ご来光見学ツアー

「ここでしかできない」コンテンツ



宮城オルレ村田コース



本格甲冑体験

【参考】令和7年度みやぎ観光振興会議での御意見

施策2 周遊性向上のための二次交通対策

現状・課題

- 白石蔵王駅を起点にした交通手段が知られていない。
- 電車やバスなどの公共交通機関から観光資源への二次交通手段が少ない。
- タクシー事業者の廃業により台数が少なく、観光資源への移動手段が限られる。

【仙南圏域内交通手段の状況】

市町	鉄道駅	タクシー事業者	路線バス
白石市	5 駅	3 社	2 社
角田市	4 駅	2 社	—
蔵王町	—	1 社	1 社
七ヶ宿町	—	1 社	1 社
大河原町	1 駅	2 社	1 社
村田町	—	2 社	1 社
柴田町	3 駅	3 社	—
川崎町	—	—	2 社
丸森町	3 駅	1 社	1 社

(R7.6.各市町聞き取り調査)

移動手段の充実に向けた取組例

①交通手段の周知広報

圏域内の鉄道駅を起点とした交通手段（バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクル等）の周知広報の強化（例：所要時間や乗り場などを示したモデルコースの作成・周知広報など）

②レンタカーの利用促進

- ・長時間利用者へのレンタカー利用料金補助
- ・宿泊施設や道の駅等と連携したレンタカーキャンペーンの実施
- ・ホテル駐車場、ガソリンスタンド、駅前駐車場など、利便性の高い場所へのレンタカー業誘致推進

③ライドシェアの検討

- ・仙南圏域におけるライドシェア利用可能性の検討



【ベネシアンホテル白石蔵王】



【大河原駅前】

仙南圏域における観光振興施策について

事業名 仙南圏域周遊・宿泊促進事業

予算額：10,000千円

うち宿泊税：5,000千円

【1 事業内容】

【(1)宿泊型観光モデルコース造成】

仙南圏域の周遊・宿泊促進に向けて、調査分析に基づき今回の取組の方向性(テーマ・ターゲット)を絞り込む。方向性を踏まえた観光コンテンツの整理及び創出、並びにモデルコースを造成し、効果検証を行うもの。

イ 周遊・宿泊促進のための方向性提案

ニーズ調査・トレンド分析や関係者ヒアリング、ワークショップ等を実施し、市場動向と管内の観光資源の強みや課題を総合的に分析し、仙南地域の周遊・宿泊促進につながるテーマ及びターゲットを提案する。

ロ 観光コンテンツの整理及び新規創出、モデルコースの造成

テーマ及びターゲットに合った観光コンテンツの抽出・整理及び新規コンテンツの創出を行う。これらのコンテンツを活かしたモデルコースを造成する。

ハ 観光コンテンツ及びモデルコースの検証

ロの観光コンテンツ及びモデルコースについて検証を行う。

【(2)インバウンド向け情報発信】

観光パンフレットのダイジェスト版を外国語で製作し、併せて本県WEBサイト等にも掲載するもの。

【2 スケジュール】

項目	春	夏	秋	冬
(1)宿泊型観光モデルコース造成		ニーズ等調査・関係者ヒアリング 観光コンテンツの整理・新規創出	テーマ・ターゲットの提案 モデルコースの造成	観光コンテンツ及びモデルコースの検証
(2)インバウンド向け情報発信		観光パンフレットのダイジェスト版製作・翻訳・校正		パンフレット配布・WEBサイト掲載

御意見を頂戴したいこと



仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸

御意見を頂戴したいこと

仙南圏域における観光振興施策について

○ 仙南圏域における観光振興施策に係る御意見はありますか？

例（１）宿泊型観光モデルコース造成に関する取組について
（例：宿泊に繋がる夜・朝・食コンテンツ、集客力のあるコンテンツ、閑散期対策に繋がるコンテンツを磨き上げていくべき 等）

例（２）インバウンド向け情報発信に関する取組について
（例：外国語版パンフレットを宿泊事業者にも配布してほしい、他の情報発信についてはどうか 等）

御意見を頂戴したいこと

以下の3つの視点も参考に御意見を申し上げます。

- 【視点①】地域の観光業が抱える課題への対応・地域の魅力創出に向けた施策など“地域”視点での検討に加え、隣接圏域等との連携による“広域周遊”の視点を踏まえ施策を検討
- 【視点②】宿泊税を納める“納税者(宿泊者)”の視点で有益な使い途施策を検討
- 【視点③】“地域経済活性化”の視点で、滞在時間が長く、消費額単価が高いインバウンドや宿泊観光客の増加に向けた施策や高付加価値化に向けた施策を検討